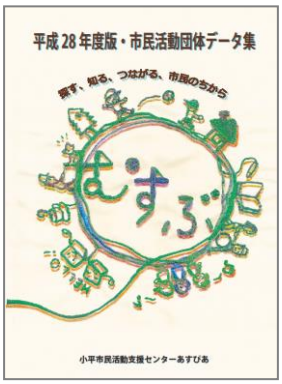
平成 27 年度

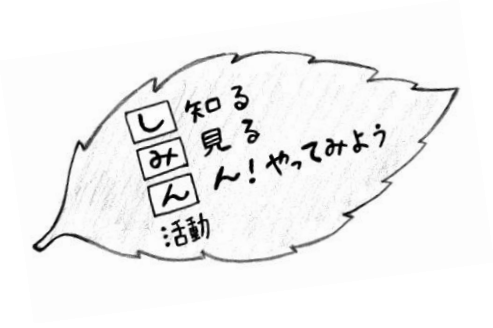
小平市民活動支援センターあすぴあ

管理運営事業報告



平成 28 年 5 月
小平市民活動支援センターあすぴあ指定管理者
特定非営利活動法人　小平市民活動ネットワーク

NPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPO
しる みる ん！やってみようしみんかつどう
NPONPONPONPONPONPONPONPONPONPONPO



平成27年度
小平市民活動支援センターあすぴあ
事　業　報　告

■平成 27 年度事業全体報告

平成 27 年度は、NPO 法人小平市民活動ネットワークがあすぴあの指定管理者となって 6 年目の年でした。登録団体数は、115 団体から 120 団体となり、年間の利用者数は 3 月中旬で 1 万人を超えました。また、電話や窓口での相談件数は、月平均 6 件ほどありました。あすぴあ最大のイベント、ＮＰＯフェスタへ新しく参加する団体が増え、会場の広さから募集団体数を 60 と限っているため、参加を断らなければならないこともありました。

主な助成金情報をホームページに掲載していますが、あすぴあ宛てに届く助成団体からの手紙、メール、チラシの種類も増えてきました。チラシの部数が多い場合には、あすぴあ登録団体を中心に情報を送るようにしています。

あすぴあ主催講座を中心に市民活動情報を発信するメールマガジン「メルマガあすぴあ」は、毎月 25 日前後に配信し 11 号までつくりました。送信希望者は少しずつ増えています。

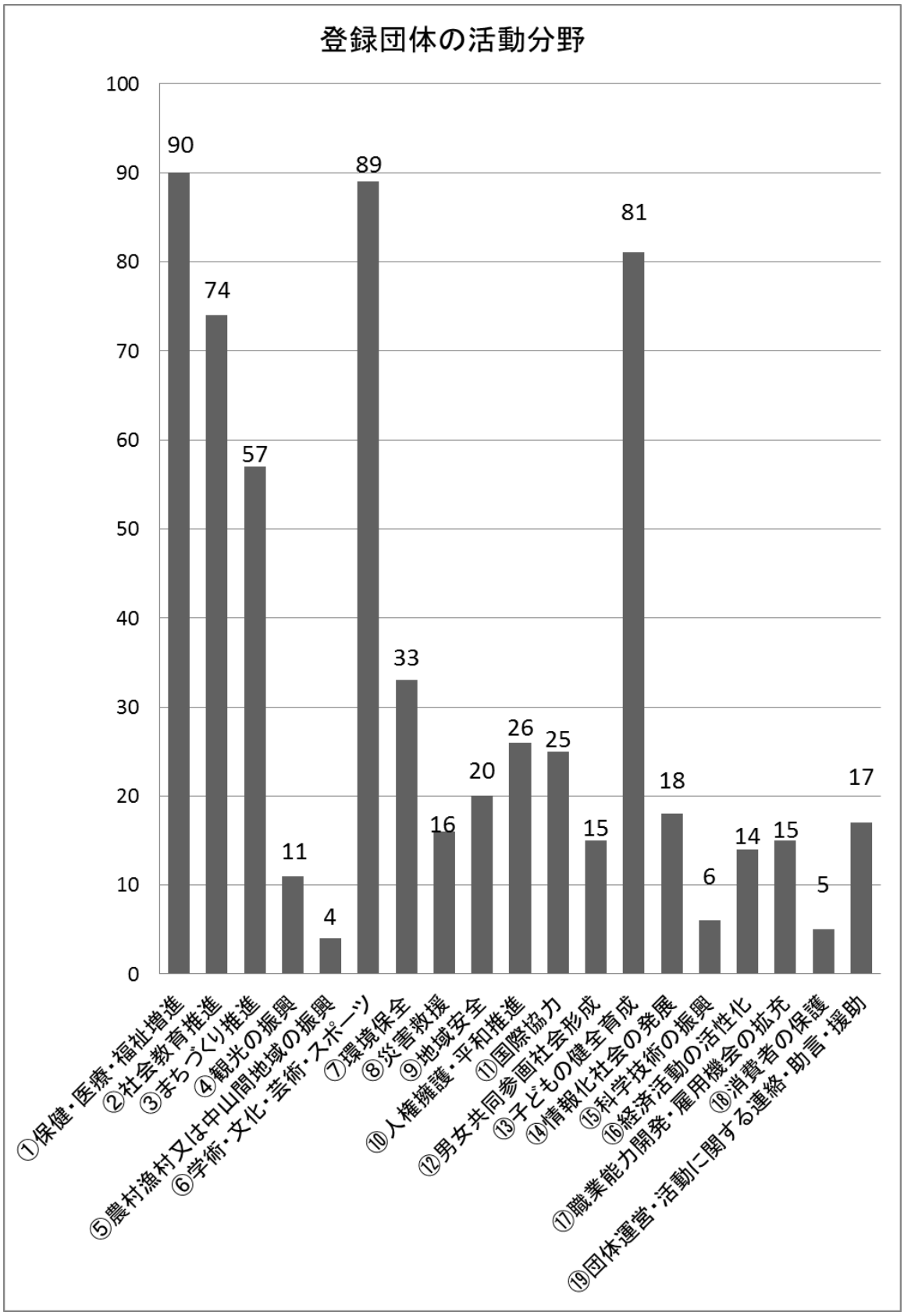
あすぴあ利用状況報　告

あすぴあ登録団体一覧表			
登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
1	H22		視覚障害者パソコン教室
3	H22		小平市けやきの会
4	H22		パソコン徒然草の会
5	H22	特定非営利活動法人	小平シニアネットクラブ
7	H22		はじめてのパソコンサークル
11	H22		小平図書館友の会
12	H22	特定非営利活動法人	小平ハートピア
13	H22		地域生活支援センターあさやけ
14	H22		こだいら参画の会
15	H22		KASA（小平自閉症を考える会）
18	H22		小平こども劇場
19	H22		こだいら市民提言の会
21	H22	特定非営利活動法人	匠リニューアル技術支援協会
22	H22	特定非営利活動法人	PIANT A TREE PLANT LOVE
23	H22		政治・知りたい、確かめ隊
26	H22		右脳いきいきクラブ
27	H22	特定非営利活動法人	ふれあいアカデミー
29	H22		インドな人口問題を考える会

登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
31	H22		小平ターゲット・バードゴルフ協会
32	H22		うたごえin元気村
33	H22		ボーイスカウト小平第2団
34	H22		小平市女性のつどい
35	H22		たまの音楽家
36	H22		いきいき93
37	H22		精神保健福祉ボランティアの会「ひだまり」
38	H22		少年少女キャンプ村　小平・西東京
39	H22		こだいらDV防止ネットワーク
40	H22		萩山・小川団地九条の会
42	H22	特定非営利活動法人	移動サービス・バイユアセルフ
43	H22		地球クラブ
44	H22	特定非営利活動法人	ACTたすけあいワーカーズ小平らいふえいど
45	H22		小平IT推進市民グループ
46	H22	特定非営利活動法人	アトリエ・パンセ
47	H22		ボーイスカウト小平第1団
48	H22		ガールスカウト東京都第176団
50	H22		小平少年少女青空学校
51	H22		小平小川西パソコンサークル
52	H22		小平市障害者団体連絡会
53	H22	社会福祉法人／つむぎ	社会福祉法人つむぎ　おだまき
54	H22		合唱団「みらい」
55	H22		小平市自治基本条例市民の集い
56	H23		パソコン復習塾
57	H23		自転車スイスイ
60	H23		K. K. メンネルコール
61	H23		上鈴木西地区3・3・8道路を考える会
62	H23	特定非営利活動法人	こども未来研究所
63	H23		小平市グラウンドゴルフ協会
65	H23		ダンスパフォーマンス集団　迫-HAKU-
66	H23		小平おもちゃ病院
70	H23	公益社団法人	小平市シルバー人材センター
72	H23	特定非営利活動法人	こだいら自由遊びの会
73	H23		むさしの会
74	H23	特定非営利活動法人	ラスキア
75	H23		市民プラザこだいら
77	H23	特定非営利活動法人	ぶるーべりー愛犬ふぁみりー協会
80	H23		朗読小平教室（ひびき）
81	H24	特定非営利活動法人	MyStyle@こだいら
82	H24	特定非営利活動法人	だれもがともに小平ネットワーク
84	H24		きらめきナイト
86	H24		たまり場フォーティワン
87	H24	特定非営利活動法人	小平市民活動ネットワーク
88	H24		子ども∞幸せ円卓会議inこだいら
89	H24		小平ユネスコ協会
90	H24		小平断酒会
91	H24		熟年いきいき会
92	H24		音の会
93	H24		こだいら平和コンサート・合唱団どれみ
94	H24		グリーン研究会
95	H24		小平要約筆記サークル「ほおずき」

登録番号	登録年	法人格／法人名	団体名
96	H24	特定非営利活動法人	障がい者職業支援　飛行機雲
97	H24		poco-A-poco
98	H24		原発にさよならを／小平の会
99	H24	特定非営利活動法人	こだいらソーラー
101	H24		小平都市計画道路に住民の意志を反映させる会
102	H24		こだいら菜の花プロジェクト
103	H25		ママさんバンドサウダージ
104	H25		こだいら市民活動まちづくりネットワーク2012
106	H25		小平Nゲージレイアウトサークル
107	H25		アロマサロン
108	H25		平和のための戦争展・小平
109	H25	特定非営利活動法人	子育てサポートきらら
110	H25		学び舎江戸東京ユネスコクラブ
111	H25		やすらぎコンサート　Sana（さ～な）
112	H25		安心安全ウォークネット塁
113	H25		障害者パソコン自主勉強会　飛躍
114	H25		親子でグッドコミュニケーション　ラ:ピース
115	H25		プアナ・ティアレ
116	H25		終活を考える会　小平
117	H25		点字の会「てんとう虫」
118	H26		小平市子ども文庫連絡協議会
119	H26		LPG
120	H26		日本太極柔力球小平支部
121	H26		さよなら原発　萩山・小川の会
122	H26	特定非営利活動法人	こども未来ラボ
123	H26		小平市身体障害者協会
124	H26		きらきらカフェ
125	H26		ブルーベリーパラダイス
126	H26		みんながみちるプロジェクト
127	H26		小平はぐくみプロジェクト
129	H26		小平市脳卒中患者友の会
131	H26	特定非営利活動法人	ライフデザインむすび
132	H26		災害ボランティア未来
133	H26		苔玉会
134	H26		親子リトミックサークルピッコロ
135	H26		こだいら国際協力プロジェクトSeed
136	H26		３．１１に学ぶ小平の減災を考える会
137	H26		小平井戸の会
138	H26		小平　市民後見を考える会
139	H26		玉川上水ストーリーテラーズ
140	H26		すまいるサロン
141	H27		白雲木
142	H27		世界の歴史を学ぶ会
143	H27		憲法カフェ
144	H27		中央大学小平白門会
145	H27		コーダー道場こだいら
146	H27		コミュニティ・プラネットs in小平
147	H27		ごはん＆小麦の幸せ時間
148	H27		ここぷらっと～こだいら・こども・こそだてプラットフォーム～
149	H27		天地虹の会
150	H27		小平ジュニアバドミントンクラブ
平成27年度末　あすぴあ登録団体数　120			

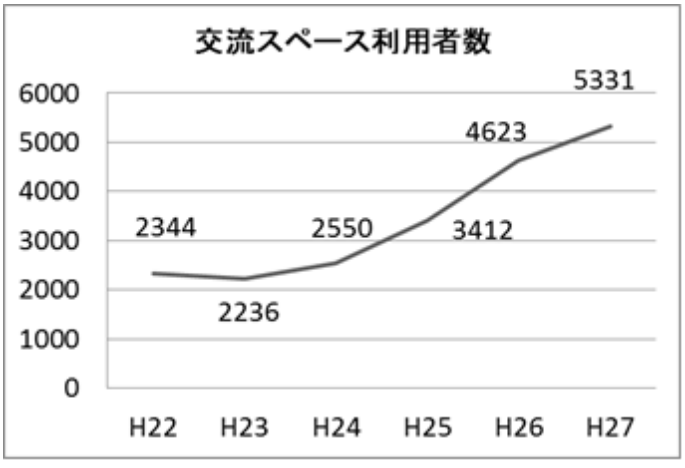
あすぴあ登録時には、団体の活動分野に関する書類の提出を求めています。ひとつの団体で複数の活動をする場合は、複数の分野にしるしをつけます。グラフを見ると、どの分野にも表示があって市民活動の多様性がわかり、興味深いものがあります。平成 27 年度は⑥学術・文化・芸術・スポーツの分野の伸びが大きかったことが特徴です。



		会議室								交流スペース			合計
		午前		午後		夜間		合計		昼間	夜間	合計	
年月	開館日数	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	利用コマ	人数	人数	人数	人数
2015/04	25	149	15	251	20	52	7	452	42	340	49	389	841
2015/05	23	125	14	248	15	34	5	407	34	402	65	467	874
2015/06	25	140	15	222	15	58	7	420	37	438	73	511	931
2015/07	26	118	16	198	17	71	9	387	42	387	65	452	839
2015/08	26	56	8	149	14	52	7	257	29	334	37	371	628
2015/09	23	105	14	238	17	49	8	392	39	319	56	375	767
2015/10	27	310	18	416	21	62	9	788	48	744	71	815	1,603
2015/11	23	185	16	268	19	94	11	547	46	364	54	418	965
2015/12	23	95	10	248	17	74	8	417	35	315	38	353	770
2016/01	23	127	12	156	11	45	7	328	30	246	57	303	631
2016/02	23	129	14	184	17	47	8	360	39	340	30	370	730
2016/03	25	144	18	285	18	70	8	499	44	456	51	507	1,006
合計	292	1,683	170	2,863	201	708	94	5,254	465	4,685	646	5,331	10,585

平成 27 年 3 月までの総利用者数は 10,585 人。そのうち交流スペース利用者数は 5,331 人。昨年よりも 700 人ほどの増加が見られました。昨年同様、小平元気村おがわ東の複数の施設へ来た人たちが、あすぴあにまで足を延ばして休んでいく姿がよく見られました。例えば、同じ階にある子ども家庭支援センターに来た親子がお昼を食べて帰る、ファミリーサポートセンターの登録に来た人がコーヒーを飲んで帰る、元気村で働く人たちがお弁当を食べに来る、1 階にある福祉施設に来た人がお茶を飲みに来る、多目的ホールで体を動かした人たちがひと休みしてから帰る、あすぴあ会議室利用後の休憩に使う等々、あすぴあは気軽に利用できる「お休み処」のような役目を果たしてきました。利用する人たちは、休みながらチラシを見たり、団体紹介展示を見たり、本や新聞を見たりしました。そして、社会の課題について語る様子は、通常の会議室利用の時には気づかないことでしたが、市民は同じように考えているということと市民活動の広がりが予想されて、心強さを感じました。

元気村の屋外広場、萩山グラウンドを利用する団体も活動後、打ち合わせや休憩に使ったりしました。団体の総会が行われる時期には、長机を使って印刷物の帳合作業をしていました。



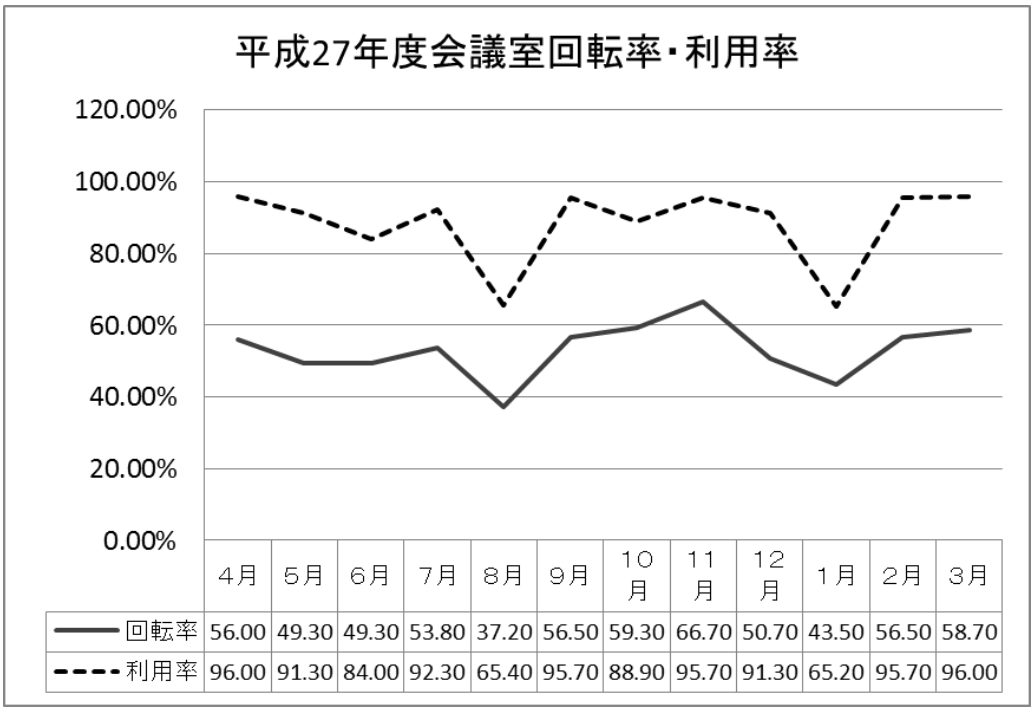
会議室は、午前、午後、夜間と分けて利用申込みを受け付け、それぞれを１コマと呼びます。つまり、1 日に 3 コマあることになります。

右の表は月別の利用率と回転率を表わしています。

利用率とは利用日数を開館日数で割ったものです。例えば、4 月は 25 日間開館していて利用日数は 24 日です。
24÷25＝0.96　となるので、利用率は96.0%となります。

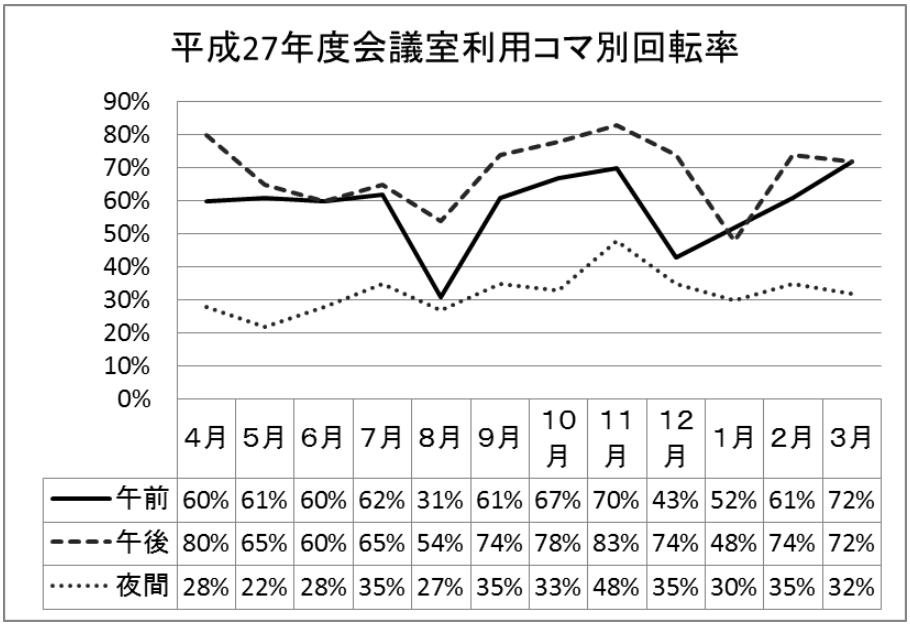
回転率とは、利用コマ数を利用できる全コマ数（開館コマ数）で割ったものです。例えば、4 月は 42 コマの利用があり、全コマ数は 75。42÷75=0.56　となるので、回転率は56.0%となります。

年月	会議室利用率・回転率					
	利用日数	開館日数	利用率	利用コマ	開館コマ数	回転率
2015/04	24	25	96.0%	42	75	56.0%
2015/05	21	23	91.3%	34	69	49.3%
2015/06	21	25	84.0%	37	75	49.3%
2015/07	24	26	92.3%	42	78	53.8%
2015/08	17	26	65.4%	29	78	37.2%
2015/09	22	23	95.7%	39	69	56.5%
2015/10	24	27	88.9%	48	81	59.3%
2015/11	22	23	95.7%	46	69	66.7%
2015/12	21	23	91.3%	35	69	50.7%
2016/01	15	23	65.2%	30	69	43.5%
2016/02	22	23	95.7%	39	69	56.5%
2016/03	24	25	96.0%	44	75	58.7%
合計	257	292	88.0%	465	876	53.1%



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回転率	56.00	49.30	49.30	53.80	37.20	56.50	59.30	66.70	50.70	43.50	56.50	58.70
利用率	96.00	91.30	84.00	92.30	65.40	95.70	88.90	95.70	91.30	65.20	95.70	96.00

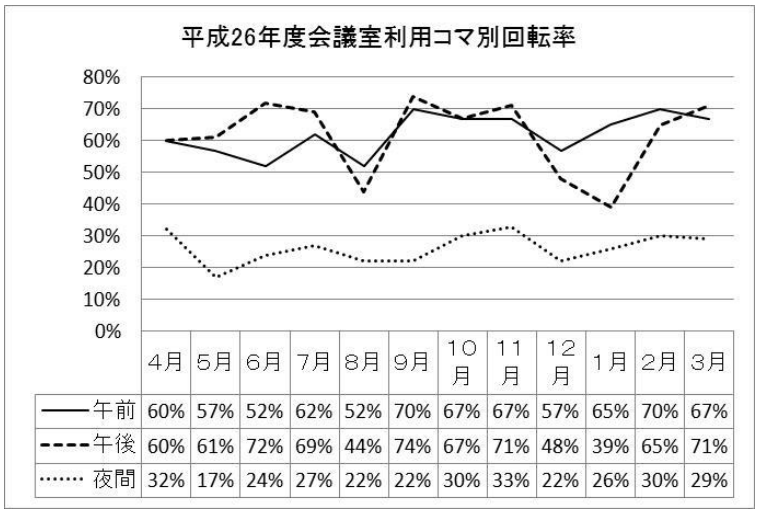
回転率・利用率は、例年そうですが、8 月・12 月に低くなり、気候のよい春や秋に高くなります。ところが、今年は 8 月と 1 月が低くなり、折れ線も鋭角になって減少の度合いが大きくなっていることがわかります。これは、年末年始の休館日が例年よりも長かったためだと思われます。2 月・3 月は、寒い時期にも拘わらず、他の公共施設を利用して行われる市民活動のイベントも比較的多い月です。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
——午前	60%	61%	60%	62%	31%	61%	67%	70%	43%	52%	61%	72%
- - - -午後	80%	65%	60%	65%	54%	74%	78%	83%	74%	48%	74%	72%
····· 夜間	28%	22%	28%	35%	27%	35%	33%	48%	35%	30%	35%	32%

左のグラフは、午前、午後、夜間別の回転率を表しています。

回転率とは、利用コマ数を利用できる全コマ数で割ったものです。例えば、4 月の午前は 15 コマの利用があり、午前の全コマ数は 25。15÷25=0.6　となるので、回転率は 60%となります。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
——午前	60%	57%	52%	62%	52%	70%	67%	67%	57%	65%	70%	67%
- - - -午後	60%	61%	72%	69%	44%	74%	67%	71%	48%	39%	65%	71%
····· 夜間	32%	17%	24%	27%	22%	22%	30%	33%	22%	26%	30%	29%

平成 26 年度の会議室利用コマ別回転率のグラフ（右）と平成 27 年度のグラフ（上）を比べると、午前・午後・夜間のどの数値も 27 年度の方が高くなっています。

夜間の回転率は、平成 26 年度には 10%台が 1 か月分ありましたが、平成 27 年度には平均 32%となり増加傾向にあると言えます。登録団体の中で夜間に利用する団体が増えたためだと思われます。

登録団体は印刷機の利用ができます。印刷機は、2 色印刷ができる簡易印刷機です。プリンターのような精度の印刷はできませんが、デザインやインクの色の工夫次第で様々な印刷物ができます。黒・赤・青・緑の 4 色。黒と赤、黒と青、黒と緑の 2 色印刷の他に、単色印刷もできます。紙は、団体が持ち込みで用意します。版下 1 枚 50 円。印刷は、100 枚まで 20 円です。

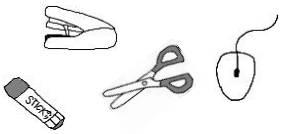
ラミネータの貸出しもしています。シート込みの値段は、Ａ４　15 円、Ａ３　30 円。機械が過熱するので、長時間の使用はできません。利用団体から文房具店に頼むより安価だと言われています。

あすぴあの図書は、市民活動関連の書籍を中心に幅広く集めています。新着図書は表紙が見えるように配置しました。交流スペースに利用者の希望を聞くための箱を設けています。市民活動の定期発行物も含め、市内の図書館にはない本をそろえるように、運営会議で話し合って購入を決めています。

廊下の掲示板も４か所あります。ひとつは「みんなのけいじばん」と名付けて、市民活動団体のみなさん自身がチラシを貼り出す場所をつくりました。助成金情報や公的なチラシを貼る掲示板もあります。その他の項目でも書きましたが、交流スペースの掲示板には、近隣市のイベントをコーナーにしてチラシを貼り出しています。

定期的に送られてくる地域情報紙、東京ボランティア・市民活動センターの冊子などを丸テーブルに並べています。来訪者に好評です。

近隣市のイベント

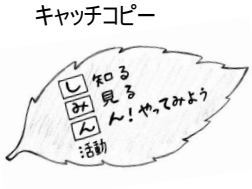


文房具の貸し出しもしています。

交流スペースには、登録団体の中から希望する団体の展示物を掲示して、活動内容のＰＲに使う団体紹介展示のコーナーがあります。期間は約１か月。あすぴあに来た人たちが読んでいきました。イベントの告知のために使う団体もありました。

１年分の展示を写真入りで紹介しました。

キャッチコピー



市民活動パワーアップ講　座

①　ワークショップの手法を学ぶ　1日集中講座

開催日時：６月１３日（土）
開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室
参加人数：１６人
講師：浅海義治さん（世田谷トラストまちづくり）

　ワークショップの手法は近年あちこちで行われ、特に市民活動の場では広く取り入れられてきました。体験した人も自分たちでこの手法を取り入れて行うとなると、実際にはどのようにしたらよいかとためらってしまいます。そこで、この手法についての「参加のデザイン道具箱」４部作を出版してワークショップの手法を教えてきた老舗ともいうべき、世田谷トラストまちづくりの浅海さんを講師に迎え、あすぴあとしては初めての１日集中講座を開きました。
　講師の言う言葉をすぐに図に表したり、まとめたりするなど、全神経を集中させて参加しなければないらない講座でした。結果は、「参加してよかった」という声が聞かれました。

◎上記の４部作はあすぴあの書架にあります。

「参加のデザイン道具箱」

②　キャンプで仲間づくり

開催日時：８月２９日（土）、９月５日（土）、
　　９月２６日（土）
開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室
　　小平市きつねっぱら子どもキャンプ場
参加人数：８人、８人、８人（＋家族）
講師：小平市スカウト協議会

市民活動に参加する若い世代をふやすために、アウトドアに興味がある人たちのうちでも男性を対象に、小平市スカウト協議会の協力を得て講座を開催しました。最終回には家族も参加して、きつねっぱら子どもキャンプ場で半日の野外活動をしました。ビニール袋に粉と他の材料を入れて手でこね、発酵させた生地をせんべいの缶に入れてかまどで焼くとピザができました。
◎参加者の中から次年度のイベント部会員の申込み者が出ました。

③　馬場利明さんのNPO会計講座

開催日時：１１月２８日（土）、１２月５日（土）

開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室
参加人数：延べ２２人
講師：馬場利明さん（税理士）

定期的に開いているＮＰＯ会計の講座を実施しました。税理士の馬場さんの丁寧な説明は、わかりやすく、休憩時と終了時に質問時間を設けたので「目的が達成された」というアンケート結果が多かったようです。

講演会:藻谷浩介さんに聞く　小平の近未来

開催日時：２０１６年1月２４日（日）

開催場所：小平市福祉会館
参加人数：１６３人
講師：藻谷浩介さん（日本総合研究所）

公開されているデータを基に、藻谷浩介さんが「小平の近未来」について講演をしました。小平市の公民館が持っている、聞こえにくい人に有効な磁気ループと要約筆記の配置をしました。「久しぶりに目的が達成される講演会だった」「数字の読み方考え方を学んだ」等々の感想がありました。
講演会の後に、関心のある人たちが集まり「藻谷浩介さんの講演会を聞いて思ったことや考えたことを語り合う会」を開きました。出席者は５人でした。

あすぴあ
市民活動
交流サロン

① 子どもの遊びを活動にしている団体の交流会

開催日時：７月２５日（土）
開催場所：小平市中央公民館
参加人数：７人
ゲスト：小平ボードゲーム交流会
　　小平こども劇場
　　ＮＰＯ法人こだいら自由遊びの会

　市内には福祉に関する団体が多く活動しています。３番目に数が多いのが子どもに関わる団体です。その中でも子どもの遊びを活動にしている団体の交流会を開き、情報交換をしました。

② 市民活動団体のためのメディア活用大作戦！

開催日時：１１月１３日（土）
開催場所：あすぴあ会議室
参加人数：２２人
ゲスト：Ｊ：ＣＯＭ、ＦＭ西東京、タウン通信
　　Asacoco（アサココ）

　メディアを知らない人はいませんが、直接関わってもよいのだろうかと躊躇していた人たちにとっては、目からウロコが落ちるような企画でした。メディアは、イベントなどをする時にもっと積極的に接してもよい相手であることがわかってきて、メディアへのアピールの仕方を熱心に尋ねる姿が印象的でした。その後、活動をメディアに紹介してもらう団体も出たり、他の団体とのコラボを考える団体も出たりして目に見える収穫があった２時間３０分でした。
◎同じような企画が他市で行われていたのを参考にしました。

③ 子どもの貧困について小平で考えよう

開催日時：平成２８年２月１３日（土）
開催場所：小平元気村おがわ東第二会議室
参加人数：４３人
ゲスト：ＮＰＯ法人豊島こども WAKUWAKU
　　ネットワーク、はちおうじ子ども食堂

「子どもの貧困」については、新聞やＴＶなどで度々取り上げられています。小平でも「子ども食堂」を始めた人たちがいることがわかり、すでに行動を起こして定期的に「子ども食堂」を開き、全国的な「こども食堂ネットワーク」に関わった豊島こども WAKUWAKU ネットワークの方と八王子市で子ども食堂を開いている大学生 2 人にお話をしていただきました。会場には定員 30 人をはるかに超えるみなさんが参加して熱気に包まれました。

◎その後、平成 28 年度のあすぴあ通信で「子ども食堂」についての特集を載せました。

④ 発達障がいの子どもたちのために

開催日時：３月１２日（土）
開催場所：小平市中央公民館学習室４
参加人数：１９人
ゲスト：ＫＡＳＡ、ＮＰＯ法人子ども未来ラボ、
　　poco-A-poco、ポップコーン

毎年 4 月の第１週には発達障がい月間の様々なイベントがあります。地域でもマスコミでも「発達障がい」という言葉を聞くことが多くなりました。そこで、タイトルのようなサロンを開き、市内で活動を続けている 4 団体のみなさんのお話を聞いて、「発達障がい」について知るサロンを開きました。市役所の担当課からも 2 人の出席があり、市の説明も聞くことができました。

ゲストの話と資料は、参加者の知りたいことにぴったり合う内容だったように思われます。開催時間が午前中だったので、質疑応答の時間がとれなかったことは残念でした。

参加の申込みは多くはありませんでしたが、当日参加する方が結構ありました。

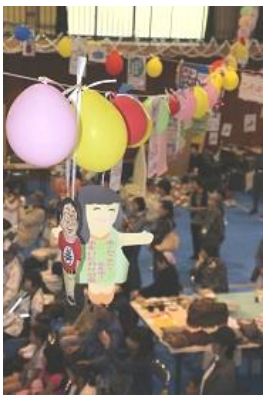
NPOフェスタ in元気村2015

開催日時：１０月２５日（日）
開催場所：小平元気村おがわ東
参加団体数：６４団体
来場者数：９７０人

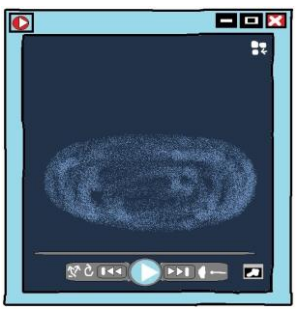
実行委員会形式で行なうＮＰＯフェスタは、毎年来場者数が増えています。中でも、お子さん連れの人たちが多く来るようになりました。学校公開週間と同時期にならなかったので、近くの小学校の子ども達が早い時間から保護者と一緒に会場に来ていました。

飾り付けはきれいにできるようになりました。市民活動の見本市に相応しく、参加団体の展示は、毎年工夫が凝らされています。ＦＣ東京のキックターゲット、多摩六都科学館の科学体験教室、コダレンジャーやぶるべーのような子どもたちが喜ぶ企画の他に、舞台では朝鮮舞踊や太極柔力球の実演、フラダンスの公演などがありました。

災害時に利用する発電機を電気ポットやホットプレートにつないで使ってみました。また、初めて音響設備を借りて使いました。長年、聞こえにくいと不評だった屋内広場の音の問題が解決しました。



萩山西交差点の角に道路占用許可をとって、大看板を立てました。



今年も動画をつくり、ホームページに載せました。音楽もつけて上映時間は約１分間。他に３分間動画もつくりました。

あすぴあ通信

市民活動団体データ集『む す ぶ』

『たねを育てよう』

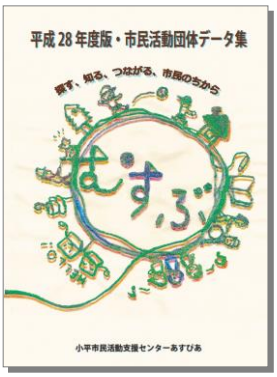
あすぴあ通信は年５回発行しています。市内の公共施設のほか、７つの西武線の駅の市報ボックスにも置いています。バックナンバーをご希望の方には送付しています。多摩地域の市民活動支援センターや東京ボランティア・市民活動センター、２３区区役所の担当課にも送っています。

広報部会が、主にあすぴあ登録団体を取材して記事を書いて載せています。今年度は紙面をリニューアルしました。例えば、写真を大きく扱い、読み物も充実させました。数年前にあすぴあが行った調査・研究で、市民活動団体が「助成金・補助金の申請の仕方がわからない」と自由記述で答えていたので、今年度最後の「あすぴあ通信４７号」で特集しました。このことは、センター窓口で直接市民活動団体と接している職員の希望でもあったので、実行に移すことができて有意義でした。

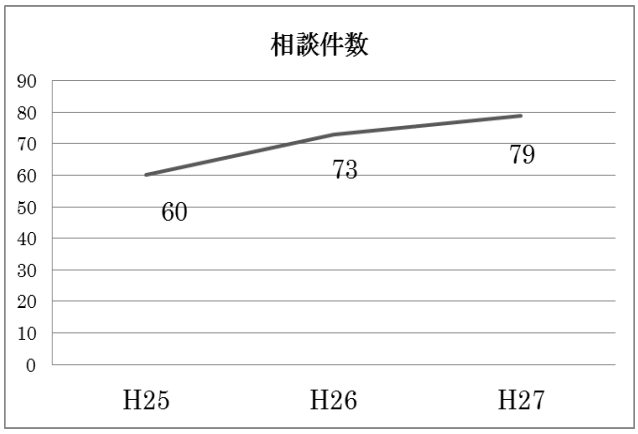
市民活動団体データ集『むすぶ』は、窓口でも公共施設でも持ち帰る人が年々増えています。新しい掲載団体は 12 団体になりました。継続して作成してきたことが、市民活動団体データ集と市民活動支援センターあすぴあの存在を市民のみなさんに知らせることになり、ひいては市民活動の活性化につながることになると思います。

掲載団体は毎年、市報こだいら 11 月 5 日号で募集しています。

市報で募集した公募市民のみなさんと一緒に「市民活動＆協働はじめてＢＯＯＫ　たねを育てよう」を作成しました。これは、市民活動をまだしていない、あるいは始めて間もない人向けの市民活動のハンドブックです。読んでいくと、市民活動と協働について、わかる仕組みになっています。



なんでも相談室



市民活動相談は、電話、窓口での相談から相談日を予約する「なんでも相談室」まで様々な形があります。相談の内容は例えば、ＮＰＯ法人格をとりたい、団体を立ち上げたばかりで相談したいことがある、活動をひろげたい、というような内容でした。市の各担当課からの問合せや他市からの市民活動に関する問合せも多くなった年でした。

利用者懇談会

開催日時：３月３０日（水）
開催場所：あすぴあ会議室
参加人数：７人

・市民協働から
　　市民活動支援公募事業の説明
・利用者アンケート集計の報告
・団体の活動紹介、質問、懇談

年に１回、登録団体だけではなく、あすぴあを利用したことのある団体・個人が集まって懇談する会を開いています。事前に１か月間アンケートを実施して、利用する人たちの声を集め当日の話題にしています。

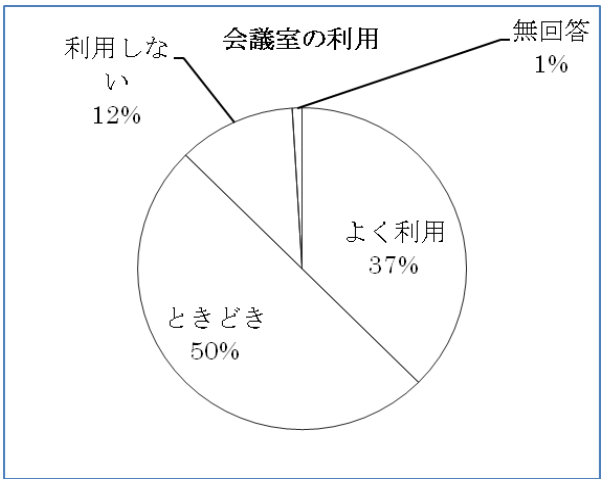
当日出た意見については、利用者懇談会報告書を作成して、次年度のあすぴあの管理・運営に反映することにしました。

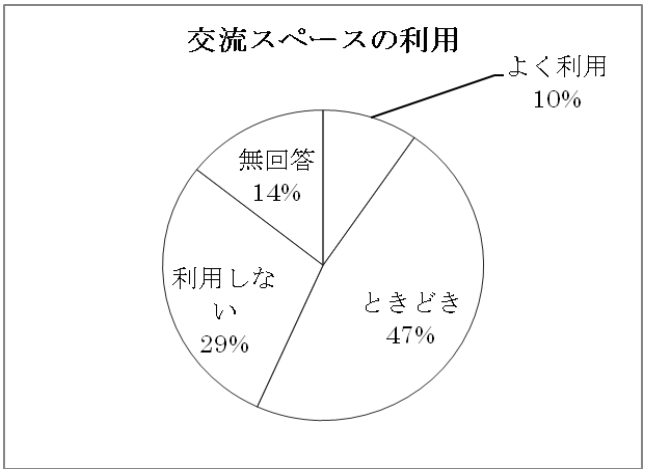
≪利用者アンケートの集計から≫

2016.2 月～3 月

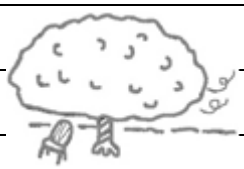
回収総数

n=104





自　由　記　述
広々として使いやすい。
大変感謝しつつ利用させていただいています。フェスタなどでは、他のサークルの動きを知ることができました。
予約状況がもっと分かりやすい方がよい。
会議室の申込み方法が複雑である。
申込みが全部ネットでできるとよいと思います。
トイレのドアが開けにくい。冬はちょっと寒い。
いつもとっても丁寧に対応してくださって、感謝しています。
活動に対して支えて協力してくださって感謝しております。
大変よく対応してくださっています。
インターネット環境の充実を望みます。
市民協働の推進と成果が不明だと思います。
シナジー効果のない市民協働は意味がないと思います。



イベント部会
広報部会
フェスタ部会

市民参加

あすぴあの事業の大部分は市民参加で行なわれています。春に市報こだいらで募集しますが、年度の途中からでも部会に参加することができます。

■イベント部会

あすぴあでは市民活動パワーアップ講座と市民活動交流サロンを年に４回ずつ企画・運営しています。毎月、あすぴあ交流スペースで部会を開きました。今年度はパワーアップ講座を３回実施し、講演会も開催しました。

■広報部会

毎月、交流スペースで部会を開き、あすぴあ通信（年５回発行）の企画・取材・編集をします。また、あすぴあホームページとメールマガジンがよりよいものになるように話し合いをしました。

■フェスタ部会

毎年 10 月にあすぴあ最大のイベント、ＮＰＯフェスタが開催されます。部会では、ほぼ１年をかけて企画、運営をし、実行委員会形式で行なわれます。実行委員は市報で募集したり、参加団体に呼びかけたりします。フェスタ部会は、フェスタの応援隊です。

運営会議

市民による会議

あすぴあの運営に関して、各部会の部会長と指定管理者の理事たちが話し合う会議を月１回開きました。運営会議で議題となった主なものは下記のとおりです。

第１回　４月
　あすぴあ調査・研究事業について
　あすぴあ運営・管理の５年間について
第２回　５月
　あすぴあ調査・研究事業について
　あすぴあへの登録条件について１
第３回　６月
　あすぴあ調査・研究事業について
第４回　７月
　データ集「むすぶ」の無断転載禁止について
第５回　８月
　他市市役所からのあすぴあ見学受入れについて
第６回　９月
　あすぴあへの登録条件について２
第７回　10 月
　あすぴあへの登録条件について３
第８回　11 月
　市報掲載について
　藻谷さん講演会の段取りについて
第９回　12 月
　図書の選定について１
第 10 回　１月
　図書の選定について２
　ミニサロンについて
第 11 回　２月
　図書の選定について３
第 12 回　３月
　調査・研究の担当者について
　図書の選定について４

運営サポート

会　議

公募市民、登録団体、学識経験者などで構成される会議です。オブザーバーで市民協働が出席します。あすぴあは市民活動を支援するところですが、そのあすぴあの動きを支援するのがこの会議です。毎回、忌憚のない意見が出る場です。

平成 26 年度は 7 月、11 月、3 月の 3 回開催されました。

主な議題

7 月：年次報告概要版を配付した

ＮＰＯフェスタについて

11 月

ＮＰＯフェスタについて（終了した感想など）

3 月

平成 27 年度全般にわたる意見交換

ホームページとメールマガジンについて

ホームページの更新は、職員が毎日行っています。

昨年度秋に行ったあすぴあのホームページのリニューアルから 1 年以上経過し、新しいホームページの部分的な更新を少しずつ進めたり、直近のあすぴあイベント情報を TOP ページですぐに読めるようにしたりしました。

近隣市のセンターのホームページもリニューアルが続いています。それらの見せ方を参考にしながら、広報部会での話し合いや運営会議での意見を取り入れ、職員間でも話し合って、より良いホームページにしていきたいと思っています。

メールマガジンを希望する方へ毎月配信しています。主にあすぴあ主催の講座・サロンの予告や助成金情報、近隣市のイベント、あすぴあ図書からの紹介文も載せています。1 月に企画した藻谷浩介さんの講演会前後からホームページのアクセス数とメールマガジンの申込みが増えたように思いました。

対外的なこと
その他

■東京ボランティア・市民活動センター

年に数回、飯田橋にある東京ボランティア・市民活動センターで開かれる会議に指定管理者の理事長と一緒に出席しました。

■学園西町地区地域連絡会

昨年に引き続き、ＮＰＯに関わる施設として出席しました。地域に関わる、小・中学校の校長、ＰＴＡ会長、民生・児童委員、商店会、地域包括支援センター、社会福祉協議会、国際交流協会が話し合いをしました。他市の先進事例を見るために鶴ヶ島市に見学もしました。(あすぴあは行事が重なったため、参加できませんでした。)

■忘れない　３・１１展 2015

平成 27 年度も中央公民館で行なわれた「忘れない　３・１１展」に展示で参加し、交流会にも出席しました。あすぴあに届いた東日本地域の巨大ポスターや東日本大震災関連の催物のチラシを展示しました。

■元気村の防災訓練に参加

毎年秋に、小平元気村おがわ東内にある施設が参加する防災訓練に指定管理者の理事と一緒に出ました。非常階段を使ってグラウンドへ避難したり、人員点呼、消火器の火元当て実習、消火栓のホースの使い方を練習したりしました。

■６市・市民活動情報連絡会

八王子市、三鷹市、日野市、西東京市、府中市と小平市の 6 市にある市民活動支援センターが市民活動の情報交換をする会です。年に 3 回ほど開かれ、開催地は持ち回りで開いています。

■他市の担当者とのつながり

◇東京ボランティア・市民活動センターのボランタリーフォーラムで知り合いになった杉並協働プラザの担当者を通じて、杉並区の通信に掲載されていた地域デビューの冊子を数部送ってもらいました。

◇上記のイベントでたまたま同じテーブルについた人たち全員がそれぞれの施設でチラシや通信の作成に関わる人たちでした。日頃チラシをつくっているだけに、捨てるにしのびないという悩みを持っていました。小平では「近隣市のイベント」をいうコーナーをつくり、特別にチラシを貼り出しているという話をしたところ、すぐにできることだと喜ばれました。

◇青梅市市役所市民協働担当部署の職員と市民活動団体の一団があすぴあを視察しました。三鷹市市民協働センターとあすぴあの２か所の訪問でした。あすぴあの成り立ちなどの説明と事前にもらった質問への答えと元気村館内の案内をしました。複合施設にあるセンターのよさをアピールできました。

◇武蔵村山市市民協働推進課の担当者に会いました。これまでメールのやりとりをしたり、NPO フェスタ見学にみえたりしていたので、こちらから訪ねました。この時に聞いた「武蔵村山子ども食堂」のニュースが平成 28 年度のあすぴあ通信の子ども食堂の特集につながっていき、充実した紙面づくりになりました。

◇他市の公共施設に小平市の市民活動団体のイベントチラシを置くことができるかどうか、小規模ではあったが、調査をしました。結果は、あすぴあ通信で発表し、希望施設に送りました。

■学生とのつながり

◇昨年同様、日野市の明星大学の大道芸団マアムがＮＰＯフェスタに参加し、子どもたちに皿まわしの体験コーナーを提供しました。

◇嘉悦大学の学生たちがゼミの教授といっしょにＮＰＯフェスタに参加し、アンケート回収などを手伝い、アンケート回収率アップに貢献しました。

◇夏の期間に、インターンシップの学生１名の受け入れをしました。主に 10 月に実施するＮＰＯフェスタの準備と各事業部会への出席をしました。公務員志望のようでしたが、あすぴあでの体験を通して市民活動団体の熱心さに触れ、ＮＰＯへの就職も選択肢のひとつに入れたとの感想をもらいました。

◇市内大学の大学祭でＮＰＯフェスタに参加してほしいと思う団体へ勧誘のための手紙を手渡しました。結果は、平成 28 年度のＮＰＯフェスタ参加団体募集の際に出ることを期待しています。

■他市の公共施設におけるチラシ置き場の条件に関する調査

市民活動でイベントをする時にチラシをどこに置くかということは結構重要な問題です。最近は遠くの町からの参加する人もいるので、チラシが置ける他市の公共施設の情報は知りたいところです。夏の期間に小平市から約１時間以内に着くことができる場所について実施しました。結果は、あすぴあ通信４７号で発表しました。

■あすぴあ・公民館・こだいらボラセン・市民協働による地域福祉活動及び市民活動の中間支援に関する情報交換会（略称ＡＫＶＳ）

昨年度末から始めた、地域で活動している方たちの中で「地域コーディネーター」と言うに相応しい人たちに集まってもらう座談会を

2 回行いました。その後、地域のつながりづくりを考える講座を実施し、地域で活動する団体や施設での体験をしたりしました。講座の参加者からイベント部会員への申込みをする人たちがいました。

■職員研修（夏と冬の内部研修）１

職員からの希望を取り入れ、日常業務の中で疑問に思っていたことを集めて話し合いをしました。公共施設には必ず設置されているＡＥＤですが、実際に動かしたことのある職員が少なかったので、小平消防署に講習会を申し込みました。せっかくの機会なので、元気村館内の他の施設の人たちを誘っていっしょに講習を受け、施設同士の一層のつながりもできたと考えています。

年２回、事業所として課せられている消防訓練もしました。

■職員研修（外部研修）２

職員がそれぞれ興味を持つ領域で外部の施設の講座に参加する研修を行いました。市民活動団体が常に関心を持つ「資金のつくり方」講座、ＮＰＯ法人のつくり方講座、ＮＰＯ法人の会計講座、ＮＰＯの総会前に行う監査で注意しなければならない点を教わる講座、相談で気をつけなければならない点を学ぶ講座などに出席しました。

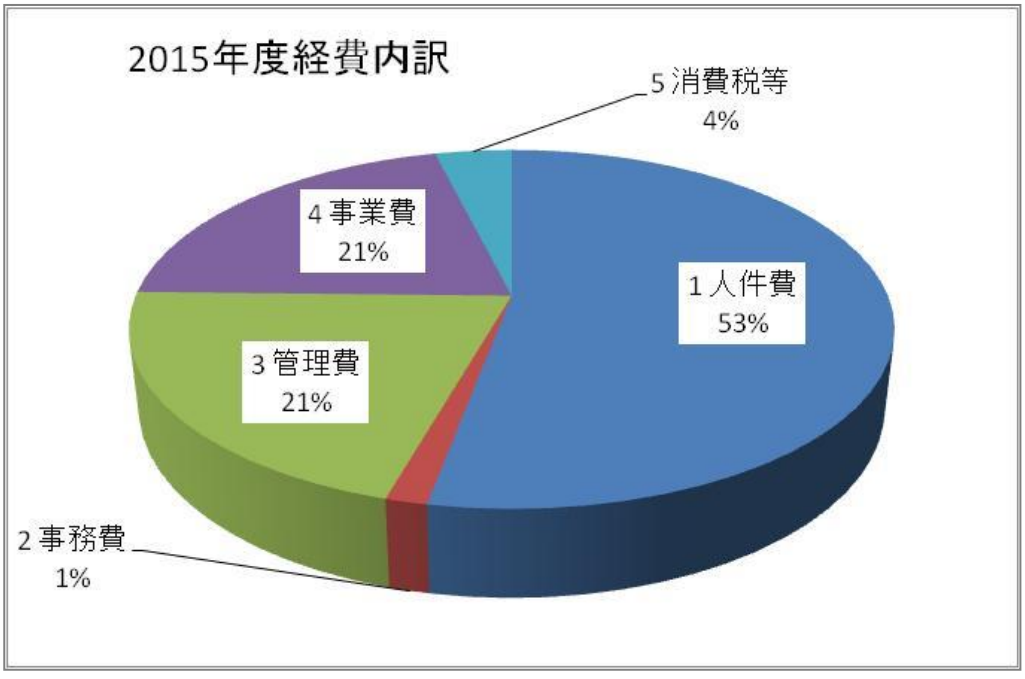
■あすぴあ勉強会

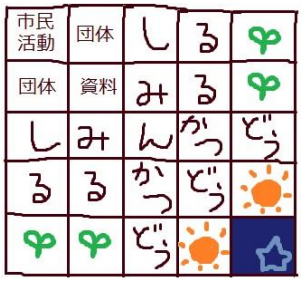
昨年度に引き続き毎月１回、職員・指定管理者ＮＰＯ法人の理事・3 部会の部会長・部会員が参加する「あすぴあ勉強会」を行いました。

■「利用の手引き」改訂版作成

職員間で話し合い、変更点などを反映させた新しい「利用の手引き」をつくりました。印刷は年度末に行い、新年度からの配布としました。

2015年度収支計算書		
	2015年度実積	備考
収入合計	14,284,087	
指定管理料	14,109,050	
事業収入	13,500	市民活動交流サロン参加費、フェスタ反省・交流会参加費
雑収入	161,537	印刷機・コピー機・プリンター使用料
経費合計	13,493,577	
1　人件費	7,144,525	常駐スタッフ昼間2名、夜間1名
2　事務費	201,052	メール便、文房具、用紙、カラープリンターインク、帳票類 伝票類、受講料、交通費、印紙税、送金手数料
3　管理費	2,823,701	通信運搬費、消耗品費、消耗什器備品費、交通費、印刷製本費 コピー機・パソコン等貸借料、保険料、修繕費、 支払い手数料、雑費、一般管理費
4　事業費	2,801,299	情報収集・発信事業費、セミナー開催・講師派遣等事業費、 普及啓発事業費、調査研究事業費 ≪市民活動パワーアップ講座、市民活動交流サロン、 NPOフェスタ、閲覧用図書、あすぴあ通信、むすぶ≫
5　消費税等	523,000	




市民
活動
団体
し
る
団体
資料
み
る
し
み
ん
かつ
どう
る
る
かつ
どう
どう